

2025年(令和7年)

6月25日

水曜日・赤口

発行所 **四国新聞社**

番町本社

〒760-0017

高松市番町1丁目10番21号

番町メディアビルディング

中野町本社・本店

〒760-8572

高松市中野町15番1号

©四国新聞社 2025年

ご意見・お問い合わせは

読者相談室 **087-833-5552**

(平日10時～17時/土日祝休)

電話 087-833局

報道部 1119

総務局 1114

地方部 1120

販売局 1124

運動映像部 1818

広告局 1145

生活文化部 1121

事業室 1138

ご購入のお申し込みは

 **0120-084459**



きょうの紙面



中山千枚田で泥んこ遊び

12



癒やしの庭造り始動

13

整備を進めていく予定の庭園。草が生い茂っている
善通寺市仙遊町



善通寺市仙遊町の四国こどもとおとなの医療センターで、地域と連携して庭園を整備する「ヒーリング・ガーデン・プロジェクト」が本格始動した。病院関係者や市内の団体、高校生、ボランティアらが協働し、庭園を育てていくプロジェクト。患者を含め地域の誰もが癒やし合える庭を目指す。

四国こどもとおとなの医療センター

癒やしの庭造り始動



シェードカーテンに色塗りをする菅法主(中央)や高校生ら
—善通寺市仙遊町、四国こどもとおとなの医療センター

同病院では、芸術の力で医 療現場に癒やしをもたらす「ホスピタルアート」を推進。これまでホスピタルアートデザイナーの森合晋さんを中心に、患者や医療スタッフ、ボランティアが一体となって壁画制作を行ってきたほか、これまでホスピタルアートデザイナーの森合晋さんを中心に、患者や医療スタッフ、ボランティアが一体となって壁画制作を行ってきたほか、

荒れ地4000平方メートル 地域と協働で整備

うと、荒れ地状態の敷地南側の庭園(約4千平方メートル)の整備に着手することにした。

今年13日には活動第1弾として、同病院でワークショップが開かれた。プロジェクトに賛同する同病院、市、総本山善通寺、陸上自衛隊善通寺駐屯地、善通寺商工会議所の5団体の代表と、善通寺一高校デザイン科の3年生ら計約70人が参加。庭園で使う5枚のシェードカーテンを生徒たちがデザインし、辻村修市長や同寺の菅智潤法主らと一緒に色を塗っていった。

整備内容は白紙。毎月第4土曜日のボランティア作業日に庭園に来れば、誰もがプロジェクトに参加できる。同校デザイン科3年生は課題研究として取り組み、庭園のアイデアなどを提案していく。

屋上庭園と同様に、10年くらいかけて進める方針。プロジェクトリーダーの横田一郎名誉院長は「庭を育てていく過程に価値がある。地域のさまざまな人が一緒に作業し、時には作物の収穫や調理を楽しむなど、全ての人が安らげる庭を造っていったら」と話している。